

Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2008.
Autumn

Vol.4



M i y u k i n o s a t o

●特集

心身ともに患者様に寄り添って、
自宅で行う安心の療養看護とリハビリ

- ウェルネススクエア和楽 5周年記念事業開催中!
- 地域のドクターからのメッセージ ●和楽ってこんなところ!
- 今後の行事予定 ●ニュースリリース ●担当医表

ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第4号をお届けいたします。
今号は「在宅特集」です。平成10年に訪問看護ステーション「みゆきの里」を開業して以来、各地域の病院様との連携のもと、患者様の在宅での療養支援に取り組んでまいりました。また、医科のみならず歯科でも訪問診療を行ってまいりました。今年度からはリハビリテーション室に訪問リハビリチームを編成し、主に回復期リハビリテーション病棟を退院された患者様を対象に、在宅でのリハビリを実施しております。

今回は訪問看護ステーションみゆきの里と訪問リハビリ部門の患者様に、より良い在宅療養生活を送っていただくための取り組みを、ご紹介させていただきます。



みゆきの里グループ

◆軽費老人ホーム 富貴苑

◆ケアハウス ピオニーガーデン

◆特別養護老人ホーム みゆき園

◆ウェルネススクエア 和楽

◆小規模多機能ハウス ほがらか

◆介護老人保健施設 ぼたん園

◆レストラン ピオサルーテ

心身ともに患者様に寄り添って、 自宅で行う安心の療養看護とリハビリ



訪問看護ステーションみゆきの里のスタッフ

病院を越え地域に広がる チーム医療

自宅で療養される患者様が、少しでも安心して快適な毎日を送れるように、御幸病院は訪問看護と訪問リハビリにも力を入れています。御幸病院での診療患者様だけでなく、院外にかかりつけ医をもたれている患者様についても、各々の先生との協力体制のもと、地域に根ざした医療に取り組んでいます。

御幸病院に併設された「訪問看護ステーションみゆきの里」では、現在6名の看護師と2名の理学療法士が66名の患者様宅へ伺い、40ほどの医療機関と連携をとりながら訪問看護を行っています(平成20年7月度)。「いろいろな疾病の方がおられるし、高齢者の方などは容態も急変しやすい。しかも訪問時の対応は基本1人。主治医の先生やともに関わる他のスタッフともきちんと連携が取れて、自分がどう動くべきか即座に判断できる人材へ成長しなくてはなりません」と上野久美子所長。訪問看護は、在宅で療養されている方で、医師が必要と認めた方ならどなたでも利用できるため、年齢的にも、お体の状態的にも実に様々な方が利用されています。

適切かつ迅速な対応で 安心をお届け、24時間対応も

そこで、常に的確な判断ができるようにと、毎朝のミーティングで患者様の状況を報告しあい、意見交換をしながら訪問看護に出るようにしています。「私たちはかかりつけ医の先生に看護やリハビリの計画を提出し、その指示のもと訪問看護を行ないます。血圧や体温などの病状観察や点滴などの医療行為だけでなく、入浴介助や食事のアドバイス、内服薬の飲み忘れ防止のための工夫など、日常生活における援助にも取り組んでいます。また平成19年から、緊急時には休日・夜間でも訪問できるよう24時間対応も行っています。どれも信頼関係がないとできませんから、患者様やご家

M i y u k i n o s a t



毎朝、訪問看護スタッフ全員でミーティングをします



患者様宅でのリハビリの様子



バイタルチェックをして、点滴を実施

訪問看護 ステーション からのご挨拶



訪問看護ステーション みゆきの里
管理者 上野久美子

Kumiko Ueno

訪問看護ステーションみゆきの里は今年で開設11年目を迎えました。

近年まで数々の制度改革に伴って、提供します看護・リハビリの内容はより幅広く、深く、専門性の高いものへと確実に変化してきております。

国は今後、在宅医療への取り組みを強化する方針を打ち出しています。

そのような中で、私達が地域の皆様方の保健、医療、福祉を支える力となる様に、また一層信頼される機関を目指して、スタッフ一同日々研鑽しております。

開設当初看護師3名だったスタッフも、現在は看護師6名、理学療法士2名の体制になりました。今後も近隣の医療機関、在宅に関わる各種の方々との連携に努めながら、在宅で療養されている患者様とご家族をサポートして参りたいと存じます。

これからも、どうぞよろしくお願いたします。

族とより近い関係になれますね。」

また、「患者様にかかる全ての医療や介護サービスは、基本的には介護保険と医療保険の適応範囲内で提供されます。病院の枠を超えた各部署との連携は不可欠ですし、またこの連携のおかげで常にカンファレンスができるのも大きなメリットです」とも語ってくれました。

よりよい日常を実現する 訪問リハビリ

一方、在宅復帰後にリハビリが必要な方に対して、平成20年4月より「訪問リハビリ」のサービスも始まっています。「現在、担当スタッフは理学療法士2名と作業療法士1名、そして県下でも先駆的な取り組みですが、言語聴覚士1名が在宅リハビリに行っています。「患者様は回復期リハビリ病棟を退棟されたかたが多いですが、訪問リハビリは医師の指示があればご利用いただけるので、介護保険が適用されない若い世代など、実際に幅広い年齢の方にご利用いただいています。また、例えば脳性マヒのお子様のところでは訪問リハビリを行うことで、子供の成長に合わせた治療とともに、その時間をご両親にとっても安息のひとつになるというケースもあります。」と教えてくれたのは、リハビリテーション室訪問リハビリテーション部門の中園健太郎主任。開始当初の4月には少なかった利用件数も、8月にはその10倍以上になりました。

患者様の毎日に 生きる喜びをプラス

訪問リハビリでは、排泄や入浴などの日常生活動作の改善はもちろん、その人らしい心豊かな生活が送れるようQOLの向上にも取り組んでいます。患者様のご家庭に訪問するのは、経験5年以上のベテランスタッフ。「何気ない変化を察知したり、急な事象にも

対応ができ、その上で喜びや新しい楽しみなどを提供できるセラピストがこれからは不可欠です。お孫さんに手作りのプレゼントをあげたり、趣味を楽しんだり、そんな患者様の毎日の喜びや生きがいにもっと関わっていきたいですね」とさらなるサービスの向上への意欲を語ってくれました。



リハビリ室訪問リハビリ部門のスタッフ



入浴動作の訓練の様子



在宅復帰後のフォローアップも大切です

第20回 みゆきの里夏祭り開催



8月7日、第20回目となるみゆきの里の夏祭りが開催されました。当日は暑い中、1500人以上の方々のみゆきの里を訪れてくださいました。

夕方6時より開会となった夏祭りは、富貴苑・ピオニーガーデン施設長、富島ヨシの挨拶から始まりました。その後すぐ、みゆきの里の職員や入居者の方々、それに御幸校区婦人会の皆様による盆踊り。盆踊り曲の定番「サンバ・おてもやん」の音楽がかかると、出番を待っておられるプログラム後半の出演者の方々や、地域の子供さんたちまで飛び入りで踊りの輪に加わり、大変な盛り上がりでした。

その後、こども空手道場「拳希会」の皆さんによる演武や、リズム幼稚園・こばと保育園の園児の皆さんによる恒例「よさこいソーラン節」が披露され、さらに盛り上がりを見せました。また、ウェルネスクエア和楽で講座(コース)を開いておられるフラメンコの淵上先生や、レクレーションダンスの田中先生も受講者の方々と一緒に登場。素晴らしい踊りを見せていただきました。

祭りの中盤を過ぎた頃で、みゆきの里会長・富島博が壇上に上がり、来場者の皆様に感謝の言葉を述べさせていただきました。続いて外務副大臣・木村仁参議院議員の代理として出席いただいた、良子令夫人をはじめとする来賓の皆様方のご紹介、またみゆきの里の各施設長の紹介も行われました。

お祭りの最後には、医療法人博光会理事長・富島三貴より、再度来場者の皆様にお礼の言葉が述べられました。そして毎年恒例、お楽しみ抽選会。当選番号の発表中、通り雨に降られるなど些細なハプニングはありましたが、今年も無事に夏祭りを終える事が出来ました。

みゆきの里は今後も、地域への貢献と交流のため、夏祭りを開催していく予定です。今年ご来場いただけなかった皆さんにも、また来年、会場でお目にかかれることを、職員一同心待ちにしております。



地域のドクターからの Message

メッセージ

医療も関係プレー



そのだ脳神経外科医院

園田 寛先生

そのだ脳神経
外科医院

〒862-0946
熊本市画図町所島135-1
TEL:096-379-3888

訪問看護ステーションみゆきの里の看護師さんにはいろいろお世話になっています。この度も看護師さんから依頼され、この原稿を書いています。

当院では在宅医療を積極的に行っていますが、その際とても助かるのが訪問看護師さんからの情報です。いろんなステーションの看護師さんと連携していますが、みゆきの里の訪問看護師さんはきめ細かに情報を伝えてくれ助かります。訪問看護は在宅医療の要です。患者の状態の変化を報告して貰うと診察に行かない時でも患者の状態が分かります。ご本人や家族の方にとっては心強い存在でしょう。患者のちょっとした変化をいち早く気付き大事に至らずに済むこともあります。これからも訪問看護師さんは頼りにしています。

さて、私のことですが、ナフコ江津店前の東バイパス沿いに開業して19年目に入りました。開業当初と比べると当院周囲の様相はかなり変わりました。中

央病院やゆめタウンなどの大きい建物が建ち並び東バイパス沿いには田圃がなくなりました。6車線化で車の流れも変わりました。たった19年ですが隔世の感があります。一方この間医療も変わりました。特に介護保険の導入で、在宅医療はかなり変わりました。現在介護保険のサービスなしでは在宅医療はやっていけません。御幸病院は以前から介護福祉の方面にも力を入れておられ、最近では回復期リハビリや緩和ケアにも力を入れておられます。その先賢の目には敬服しています。現在みゆきの里グループを含め御幸病院は地域になくはならぬ存在になりました。熊本県では脳卒中地域連携パスが動き始めましたし、医療機関もその特性に応じて役割分担が明らかになって来ました。これから先はいろんな連携が必要になります。御幸病院の吉田院長と私は大学の同期でもありますので、これからもお世話になると思います。宜しくお願いします。

特集

和楽

WAKARU

ウェルネススクエア

って

こんなところ! Vol.4



●ウェルネススクエア和楽 5周年記念事業開催中!



おかげさまで、老人福祉・健康増進センター ウェルネススクエア和楽は7月に5周年を迎えました。

4月より5周年記念事業を開催中ですので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

◆市民講座〈5回シリーズ〉

テーマ〈温泉学〉〈養生学〉〈運動学〉 ※参加料無料

- 第1回「病気の予防と健康増進に役立つ“音響療法”」(5月24日)
- 第2回「陰陽五行」(7月1日)
- 第3回「不養生学」(7月10日)
- 第4回「身体活動(運動)と健康な生活」(7月26日)
- 第5回「長寿の医学」～心と身体の両面から～(9月27日)

第1回から4回までの講座では、来場者で会場は一杯となり、大盛況のうちに終了いたしました。

中でも第3回講座では、菊池養生園 名誉園長である竹熊宜孝氏の巧妙なお話しぶりに会場が沸き返る程でした。

おかげさまで和楽は5周年を迎えました。

◆食育講座〈4回シリーズ〉

- 第1回 “子育てママの食育セミナー
：見直しませんか、子供の食事” (4月19日)
 - 第2回 “命を豊かにする食事法” (5月17日)
 - 第3回 “マクロビオティックなスイーツ
：身体にやさしいお菓子から学ぶ健康法” (6月21日)
 - 第4回 “オーガニックと野菜スープ” (7月19日)
- 最近の、食育やスイーツへの関心の高まりもあり、全講座、受講者の熱心な聴講姿勢がとても印象的でした。

◆音楽コンサート〈2回シリーズ〉

- 第1回 重松壮一郎 ピアノ・ソロ・コンサート(8月30日)
“生きとし生けるもの全てとの共鳴から音を紡ぐピアニスト”
として日本全国・アメリカにて活躍中のピアニスト。当日は、
即興にて奏でられるメロディーにお客様もうっとり。癒される
ひとときとなりました。
- 第2回 岡林立哉 馬頭琴コンサート(9月20日)
“日本における馬頭琴・ホーミー演奏者の第一人者”

◆スピリチュアル講座〈3回シリーズ〉

(5月31日・8月30日・11月15日)

●エアロビクス コース開講!

- これまででもご要望の多かった、〈エアロビクス コース〉を、6月より新たに開講しました。
- 毎週水曜日 19:00～20:00
- ¥500 (入浴とのセットで、¥750)
- ダイエットやシェイプアップ希望の方
- 体を動かす機会の少ない方
- ストレス解消したい方 …等にお勧めです。

*7月20日 駕町通りにイタリアンレストラン BIO SALUTE(ビオ サルテ)をグランドオープン!

店名の“BIO”は「生命」を、“SALUTE”は「健康・安全・福祉」等を意味し、皆様方に「食」を通じて健康な生活を送って頂きたいとの願いを込めて、みゆきの里が目指しております「予防医学」をウェルネススクエア和楽同様、まさに体現していただくお店でもあります。

皆様方に親しまれ・喜ばれるお店を目指し、賢く食べてキレイに健やかになる「賢食」を身近なものにしたい。ただため日々努力して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

BIO SALUTE のテーマはWhole Food(ホールフード)：
“私達はより自然に近いかたちの食べ物を、「身土不二」「一物全体」をベースに調理し、人間と環境の調和に取り組んでいきます。



- 11月1、2日 流通情報会館バザール出店
- 11月12日 みゆきの里ボランティア交流会



流通情報会館
バザール

■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	金沢	川野 長尾	吉田	担当医
午後	岩重	牛島 長尾	高野	牛島 長尾 廣瀬	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週月・水・金の午前・午後
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長 津出診療部長 川野内科医長 牛島医師 本田医師 高野医師 岩重医師 金沢医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
磯貝ホスピス医長 鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
廣瀬医師	整形外科を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。
● リハビリテーションの担当医:川野、吉田、津出 ● 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時) 相談窓口:医療介護相談室	

市民講座 竹熊名誉園長「不養生学」

7月10日、和楽5周年記念市民講座の第3回として、菊池養生園名誉園長の竹熊宜孝先生の講演「不養生学」が行われました。

今回の講演も、暑い中にたくさんの方々において頂き、会場の和楽3階教養娯楽室は満員となりました。竹熊先生のお話はいつもユーモア溢れる、初めて聴く人にも分かりやすい内容で、会場では笑い声が絶えませんでした。

いのちの大切さと、そのいのちを支える食べ物の大切さを訴えられる竹熊先生のお話に、集まれた皆さんも大変感心しておられたようです。



市民講座 長尾名誉院長「陰陽五行」開催

7月1日、ウェルネススクエア和楽開設5周年式典が開催されました。多くのご来場をいただきました中、式典の最後に市民公開講座として、御幸病院の長尾名誉院長より「陰陽五行」と題して講演が行われました。無料公開されているこの講座の時間になると、さらに多くの方々が集まり、会場の和楽3階・研修室はたちまち満員となりました。

中医学を含んだ中国の学問・思想の中心的な考え方である、「陰と陽」「五行」について、養生する上での実例を交えながら分かりやすく説明する長尾先生の講義に、集まった皆さんも真剣に聞き入っておられました。



私たちは、地域の人々、利用者のご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・神経内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師:岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:40床
- 療養型病床(医療):45床(介護):51床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

奥付

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸苗田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.miyukinosato.or.jp/>